

**早めの住み替えや改修を促すためのアセスメントとサポートを実施。改修については、早めの改修による効果検証を実施し、健康寿命の延伸に寄与する住宅改修の普及を図る。**

- 高齢化の進展により増加する社会保障コストを抑えるため、住まい側での対応により健康寿命を延伸させることが求められている。
- 本提案では、建築物としての条件・住まい手の健康状態等に応じた住まいと住まい方のアセスメントを行い、今後の住まい方の意思決定をサポートし、住み替え又は改修ガイドラインの8つの配慮事項に沿った早めの改修を実施するとともに、その効果を検証する。
- 一連の流れと住まいの前後を把握して検証し、現場見学会やホームページ等で効果に関する情報提供を随時行い、幅広く他事業への普及を目指している。

高齢期の住まい選択の現状



成り行き任せ

現状は成り行きまかせが大多数

プレシニア・アクティブシニア 介護予防期 要介護期

老後資金に余裕がないOR  
先が不安だから**老後資金**に手を付けたくない  
⇒高齢期に適さない環境で過ごす  
→家が原因で**介護に**  
→家が原因で**家族の介護負担が増える**

本事業の実施内容

**総合相談機能  
モデル構築**

総合相談をモデル的に構築し、**住まい方アセスメントの実施**  
:高齢期に適した住まいや住まい方について、まずご自身で考えてもらい、それを受けて専門家へ相談して多様な視点から情報を整理して意思決定を支援する

一連の検証を行うためには事例が必要＝住み替えまたは住宅改修の実施

**検証**

- 1) 住まい方アセスメントの検証
- 2) 住替えの経緯と住み替え前の住宅の状況把握
- 3) 住宅の改修の実施状況と前後の変化の把握

**普及**

- 1) 住宅改修を実施した住宅での現場見学会を実施。
- 2) 事務局(一般社団法人 高齢者住宅協会)や提案者のWebサイトで住み替えやリフォームの事例とその効果、居住者の感想等を発信。
- 3) 住み替えやリフォームを実施した住まい手による、効果についてのSNS発信を促す。

**事業概要**

代表提案者	大和ハウスリフォーム株式会社
共同提案者	旭化成ホームズ株式会社、旭化成リフォーム株式会社、神奈川ロイヤル株式会社、積水化学工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、東京セキスイファミエス株式会社、株式会社ニューライフ・フロンティア
事業実施場所	首都圏を中心とした全国
事業実施内容	高齢者が居住する住宅の改修(141戸)、住まい方アセスメント検討、住み替え状況の検証、住宅改修実施者の住まい心地の改善と住まい方の変化の検証、現場見学会の実施、住宅改修による改善効果の発信、住宅改修実施者(住まい手)による改善効果の発信 等
事業実施期間	令和元年12月～令和4年3月

**評価委員会での評価内容**

- ハード及びソフトの両面から創意工夫がみられる充実した改修ガイドラインに沿った一連の改修の取り組みを実施してエビデンスを形成し、それを普及啓発することについては、ユーザーにとっても利益があると共に、他事業への波及効果も期待されるものである。また、各社が共同して提案する点についても評価できる。
- 一方、検証結果については、提案者間で共有するだけでなく、広く情報発信することで改修ガイドラインの普及に努めることが求められる。